



令和6年度

我が校の強み弱み分析・評価シート

大津市立粟津中学校

粟津中学校3年生の全国学力・学習状況調査の結果では、国語の平均正答率で約3ポイント、数学の平均正答率で約6ポイント上回りました。質問紙調査の「授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか」という設問に肯定的な回答をしている生徒が93%以上であることもあわせると、日々の授業を大切にしていることや、家庭学習での粘り強い取り組みの成果であろうと考えます。一方で、国語では「①文章と図とを結びつけ、その関係を踏まえて内容を解釈すること、②意見と根拠など情報と情報との関係について理解すること、③表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること」に課題が見られました。数学では、「①事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること、②筋道を立てて考え、証明すること、③複数の集団のデータの分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること」に課題がみられました。また、どちらの教科についても、記述式の問題への無解答率が全国や滋賀県に比べて高い傾向にあり、問われている事柄を理解して自分の考え等を記述することが苦手な傾向があるようです。

また、普段の家庭学習について、1日当たり「2時間以上勉強する」が43.4ポイント（去年は49.2ポイント）で、全国平均を上回っています。これからも家庭での時間の使い方を工夫して、自分で計画的に勉強できるようにしてください。

I 本校の学力・学習状況 [R6「全国学力・学習状況調査」の結果より] ○印=強み ●印=弱み

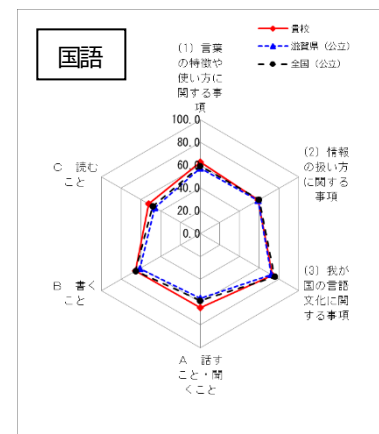
【学力調査】

《国語》○全体的に全国平均より正答率が高いが、特に「話すこと・聞くこと」に関する問題では、8.4ポイント上回っている。

- 「読むこと」に関する問題のうち、思考・判断・表現の観点に整理される問題は、正答率が低い傾向にある。

《数学》○全体的に正答率は全国平均を上回っており、特に「数と式」の領域の問題では、全国平均より8.6ポイント上回っている。

- データや事象を数学的に解釈し、数学的な表現を用いて説明を記述する問題は低い傾向にある。



【学習状況調査】

《国語》○「国語の授業の内容はよくわかりますか」に肯定的な回答をした生徒は、県平均を6.1ポイント（全国平均を4.7ポイント）上回っている。

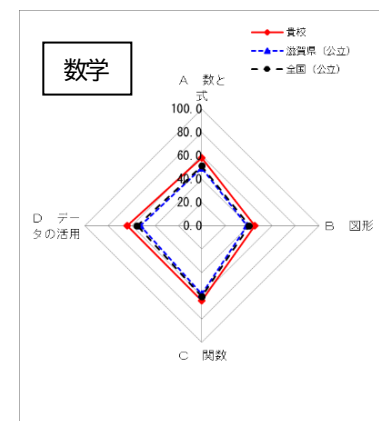
- 「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」に肯定的な回答をした生徒は県平均を3.6ポイント（全国平均を3.2ポイント）上回っている。

- 「国語の授業で、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめていますか」に肯定的な回答をした生徒は全国平均を上回っているが、最も肯定的な回答をした生徒に絞ると、全国平均を4.2ポイント下回っている。

《数学》○「数学の勉強は好きですか」に肯定的な回答をした生徒は、県平均を4.6ポイント（全国平均を1.1ポイント）上回っている。

- 「数学の授業の内容はよくわかりますか」に肯定的な回答をした生徒は、県平均を5.3ポイント（全国平均を3.7ポイント）上回っている。

- 「数学の問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしていますか」に肯定的な回答をした生徒は、県平均を5.3ポイント（全国平均を8.8ポイント）下回っている。



Ⅱ 教科指導（国語）（数学）における改善策



粟津中キャラクター
「びわぶちゃん」

- (国語)
- ・文章を読むときに、目的に応じて必要な情報に着目して読んで、要約する活動を充実させる。
 - ・タブレットも活用しながら、積極的な意見の発表や交流を促す。
 - ・書く活動の充実を図るとともに、自分の考えが伝わるように表現の効果を考えて描写を工夫して書くように指導する。
- (数学)
- ・事象を数学的な表現を用いて説明する活動を充実させる。
 - ・筋道を立てて図形の証明に取り組んだり、関数を解釈して問題解決の方法を書いて説明したりする活動に重点を置くようにする。
 - ・生徒が自らの学習を調整し、幅広い課題に取り組み、主体的に学ぶ習慣をつけることができるように、ICTを活用し復習問題に取り組む時間を設ける。

Ⅲ 学校教育目標の達成状況 [R6「全国学力・学習状況調査」の結果より] 学校教育目標 <やさしく かしこく たくましく> に関連した質問紙項目と達成状況

< やさしく >

- 人が困っているときは、進んで助けていますか。
→肯定的な回答をした生徒が90%を超えている。

豊かな心を持ち、
「命」や「人」を大切にする生徒

< たくましく >

- 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。
→肯定的な回答をした生徒が95%を超えている。

「やればできる」を合い言葉に粘り強く切磋琢磨する生徒

粟津中の生徒には、こんな良いところがあります!

< かしこく >

- 1・2年の時に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。
→肯定的な回答をした生徒が、全体の80%を超えている。
- 1、2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか。
→あてはまると回答をした生徒が、全体の72%を超えている。

学ぶ意欲をもち、学んだことを活用しようとする生徒

Ⅳ 主体的・対話的で深い学びを支える学習に向けた3つの取組

(1)子どもたちが主体の授業づくり

- ◇基礎学力の定着
- ・授業の中で「できた」「わかった」と思える問題・場面を設定し、学習意欲を高める。
 - ・学習課題を工夫して、すべての生徒が意見をもてるようにする。
 - ・定期テスト前や長期休業中に補充・質問教室を開き、学習のつまづきに対する支援を実施し、基礎・基本の定着を図る。
- ◇タブレットを用いた学習活動
- ・書く活動の充実を図る。
- ◇「全校一斉朝読書」の推進

(2)学びを支え合う集団づくり

- ◇教育のユニバーサルデザイン
- ・すべての生徒が授業の進行や説明が分かるように板書等を工夫する。
 - ・学び合いの時間を適宜確保し、コミュニケーション能力の育成を図るとともに、「主体的・対話的」、「共働的な学び」の実現を図る。
- ◇ICT機器の活用
- ・自分の考えを発表しやすくなり、他生徒の意見・考えをしっかりと交流する。
- ◇支持的風土の醸成で、自尊感情の高まる学級づくりの推進。

(3)協働して取り組む学校づくり

- ◇組織的なOJTの推進
- ・異年齢や他教科の教員との積極的な交流を図り、ミドルリーダーを核として若手教員の力量を高めるとともに、ベテラン教員の豊富な経験を生かし全ての教員の授業力向上を図る。
- ◇教材・教具の共有
- ・ユニバーサルデザインの視点をもって授業参観しあう。
 - ・指導上有効であった教材・教具・指導法について、データ等を集めて共有する。